

表紙を参考にして本を探そう

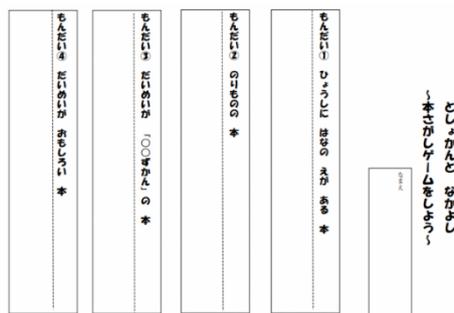
小学校1年 国語
「としょかんと なかよし」
読書活動

ねらい

○表紙の絵や題名を手掛かりに本を探す活動を通して、表紙を参考にして本を探す方法もあることに気づくことができる。

学習展開

- ① 好きな本やいつも読んでいる本を発表し合い、その本をどうやって見つけているのか考えさせることで、自分と本との関わりを想起させる。
- ② 本探しゲームを通して、同じテーマの本でもいろいろな種類の本があることを知る。
- ③ 「表紙」や「題名」とは何かを知り、表紙を見ればテーマに関わる本を見つめることができることを理解する。
- ④ 表紙や題名を見ただけで興味をもった本を探し、友だちと紹介し合う。



活用したワークシート



気に入った表紙を見せ合いました。

司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書と司書教諭で、おすすめの表紙や題名の本を準備する。
- 学校司書は、児童が探さない場所を予想し、そこにもテーマに沿った本があることを紹介できるように準備する。
- 学校司書と司書教諭とで、ワークシートの作成を行う。

指導のポイント

- 1つのテーマの本にも、図鑑や絵本など、いろいろな種類の本が存在することを実感させる。
- おすすめの表紙や題名の本を紹介する際には、児童が引き込まれるインパクトのある本を選ぶ。
- 普段関わりの少ない児童相手となるので、褒めることを中心にして関係を築きながら学習を進める。

資料

『かぜビューン』（tupera tupera／作 学研プラス）
『ふまんがあります』（ヨシタケシンスケ／作 PHP 研究所）
『○○のずかん』シリーズ（大森裕子／作 白泉社）